



タイムズ

2009.3.1
平成21年 12号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-1250
E-mail shakaikyoiku@takacho.jp



おもな内容

- ・町内学校トピックス
- ①いま学校では ②クラスの日記
- ③保健室から ④校長先生の目
- ・町内の県立学校（北はりま特別支援学校）
- ・教育委員会特集
- 多可町教育委員会の活動、全国へ！

校では・・・



中町幼稚園

マラソン大会 —たくさんの熱い声援を受けて—

11月からがんばってきたマラソンの締めくくりとして、1月27日にマラソン大会を行いました。

子ども達は、この日のために「今日は5周」「明日は10周」と、自分で目標をもち、毎日、練習を続けてきました。

「二番になる！」と意気込んでいる子、「最後までがんばるわ」と言っている子など、やる気満々で本番に挑みました。

当日は、中区老人クラブの皆さんとの交流会もあり、朝早くから保護者の方々と一緒になって応援をしていた

だきました。大勢の方々の熱い応援のおかげもあり、全員がゴールまであきらめずに精いっぱい走り抜くことができました。そして、完走の喜びをみんなで味わ



完走に、みんなでジュースでカンパイ！

応援をしてくださった多くの方々に「ありがとうございました」と感謝！



町民グラウンドから公園を抜け、ゴールの幼稚園に！

うことができました。走り抜いた子ども達の充実した顔に、また一つ成長を感じました。



けんぎいっぱい けやきっこ



松井幼稚園

北風と仲良し

元気な子



寒さに負けない体力をつくり、強い心を育むため耐寒駆け足やなわとび遊びをしています。

なわとび遊びでは、上手に跳べなくて、友だちの陰に隠れるようにしていた子が、「そんな跳び方やってたらいっぱい跳ばれへんで。見とつて、こうすんねん」「明日は朝から特訓しよな」という友だちの言葉に励まされ繰り返し何度も練習していました。教えてあげている方も教えてもらっている方も、真剣そのものでその姿はきらきらと輝いていました。



また、「今日は絶対20回跳べるまでする」「前跳びも後ろ跳びも50回跳んでチャンピオンになりたい」と、跳べるまで自由遊びの時間も給食の後も時間を見つけては練習している姿も見られました。真つ白だった跳び縄は黒くなり、持ち手にあった名前は薄くなり……。それは自分の頑張りの証でもあり、ちょっと誇らしげに「こんな汚くなつたわ」と満面の笑みで話してくれる顔からは充実感と満足感が感じられました。

練習の終わりに「暑い！ 扇風機ないの？」「いっぱい跳んで、『なわとびカード』幼稚園の想い出にすんねん」という声が聞かれました。自分の目標に向かって一生懸命練習している子どもたちは、心も体もほかほかです。





いま、学

キッズランド



保育ボランティアに参加して

豆入れ袋は、数が多くなかなか大変でしたが、にぎやかに楽しく製作しました。

豆まきでは、0～1歳児は、鬼が登場すると先生にしがみついたり大泣き。鬼が去っていく時には、目に涙を一杯にして「バイバイ」と手を振ってくれました。2～5歳児は、力強く豆を投げる、泣きながらも豆を投げる、ひたすら逃げる、身動き出来ず固まるなど、一人一人様々な反応がありました。今回、興味本位で引き受けましたが、鬼に変身して私も楽しませていただきました。参加してよかったと思います。

3歳児の母



2月3日節分の日に、全園児で節分集会をしました。これは、毎年恒例の行事ですが、今年も、保育ボランティアさんにお世話になり、ボランティアのお母さん方のアイデアで、たくさん豆が入って、丈夫な袋を作っていたきました。園児数の多いキッズランドですから、1日で出来上がり、2日に渡っての作業でした。

節分集会では、子ども達は豆の入った袋を首からかけて、鬼と戦う気満々でした。しかし、これまた保育ボランティアさんのリアルな鬼の登場に、大泣きする子も続出でした。しかし最後は、みんなで豆まきをして、キッズランドから悪い鬼を追いつけ、福の神を呼び寄せました。お土産は、甘くておいしい豆を袋いっぱい拾って帰りました。

おにほふくは

そとうち



コサージュ作り

「でんでん」の方にきていただき杉原紙のコサージュを作りました。卒業式で6年生の胸を華やかに飾ります。



児童会役員選挙運動中

新しい児童会役員がただ今選挙運動を行っています。杉小をよりよくするために立候補した候補者です。

受け継ぐ

今学校では、様々なことが受け継がれようとしています。児童の間で、祖父母から児童へ、世代を超えて・・・地域の財産・宝をしっかりと継承していきます。



あいさつ運動実施中

朝玄関で児童会役員が中心となりあいさつ運動を行っています。今回のテーマは ～自分から～ 誰にでも自分からあいさつができる杉小っ子になあれ!!



むかしあそび

おばあちゃんからあやとりの「仕方を教えてもらったよ。おばあちゃんはいろいろな技を知っていますよ。」



杉小の桜を守りましょう会発足

樹齢50年以上の桜の木を天狗巣病から守ろうと有志が集まりました。今春も、校庭は桜色に染まります。

杉原谷小学校

校では・・・



寒くなっても半袖半ズボンで頑張っています。縄跳びの練習に一生懸命です。



八千代北小学校

子どもは風の子
八北っ子は元気です

三学期になってから西高東低の気圧配置が続き、寒い毎日が続いています。ひょうたん池も氷が張るようになってきました。最低気温もマイナスの日が多く見られます。でも、そんな寒い日でも子ども達は、外で元気に走り回っています。



ふれあいの森へ入って秘密基地づくりや枯れ木でチャンバラごっこをして山の中を走り回っています。

児童の作文から

今日、ふれあいの森できちづくりをしました。ひもが2本あったから、何か作れないかな？と思っていたら「そうだ！ブランコだ！」と思いました。

作るのは、ちょっとむずかしかったけど、みんながのってくれてうれしかったです。つぎはソファーを作りたいです。



後、アイガモ農法でお世話になった地域のみなさんにお

1月30日(金)は、本年度最後の参観日でした。学習参観終了後、体育館にて「環境体験事業発表会」を行いました。発表会には、米作りでお世話になった田んぼの持ち主の方、米作りをお手伝いいただいた学校ボランティアのみなさん、アイガモ農法について教えていただいたみなさんをお招きしました。



八千代西小学校では、毎年、地域の農家より田んぼを借り受け「米づくり体験」を行っています。手植え・草取り・稲刈り・脱穀。そして、11月に行う「ふれあい祭り」にお越しいただいた保護者・地域のみなさんと共に新米をいただくことが恒例となっています。

さて、今年度は兵庫県の教育事業として「環境体験事業」が導入されたことを受け、3・4年生が米作りを通して環境体験をすることを計画し、総合的な学習の時間に「アイガモ農法」に取り組みました。

八千代西小学校

環境体験事業発表会

「アイガモの一年」

礼の鉢植えを贈りました。



かわいいうアイガモを見ながらおしゃべり。実習田がみなさんの憩いの場となったようにも聞いています。アイガモ農法の取組を通して、地域のみなさんと学校とのつながりをいっそう深めることができた、とても喜んでおります。アイガモを、そして、学校の学習活動を見守っていただきましたみなさん、本当にありがとうございます。

《お知らせ》・・・5・6年生が総合的な学習の時間に作成した「多可町紹介VTR」が多可ケーブルTVで放映される予定です。お楽しみに！



いま、学

中町中学校

生き方を先輩に学ぶ

1月16日(金)中町中学校の卒業生である松井優さんのお話を、全校生で聴かせて頂きました。

松井さんは自身の中学校時代のこと、幼い頃から車が好きで自身と車にまつわるエピソードを交えながら、常に夢を追い続けることの大切さを、困難を克服しながら仲間とともに「ソーラーカー」を開発していかれた自身の体験談とともに語ってくださいました。

最後に体育館の中を乾電池で動く世界最速車、オキシライドレーサーが実際に走ったときには、すばらしい先輩を持ったことを誇らしく思うと同時に「夢や憧れは努力すれば叶う」というメッセージを強く感じることができました。



〈生徒会三役〉



活気ある中町中に
するぞ!!

バトンは2年生へ

12月12日(金)に生徒会選挙・立会演説会が行われました。各候補者の演説が力強く体育館に響き、頼もしく感じました。次の3名が生徒会を主に運営するリーダーとなりました。

- ・生徒会長 佐藤侃くん
- ・副会長男子 桑室泰享くん
- ・副会長女子 中井ちはるさん

3年生からバトンタッチされた2年生の生徒会がいよいよスタートしようとしています。二月に各実践部の引継会があり、皆気合い十分です。



立会演説会

ありがとう!お父さん、お母さん

加美中学校では、道徳の時間を

中心に心の教育の充実を目指して、様々な取組を進めています。また、学力・学習状況調査の結果分析等から、本校の課題としている表現力の向上にも、国語科を中心として取り組んでいます。そこで、この双方を横断的にとらえ、校区の市原地区村づくり委員会が全国公募されている「ちよつと照れくさい孝行のメッセージ」に応募することになりました。

生徒たちは、普段は照れくさくて直接言えない思いを、限られた字数に込めようと一生懸命考えていました。



私のピアノにあって歌ってくれるお母さん。これからも、私だけの歌手でいてね。



きびしくしかる父の声。やさしくなだめる母の声。いつも聞いて思うんだ。二人の声が好きだつて。

私が大人になったら、お母さんに似ると思う。そして私みたいな幸せな娘も、きっとできると思う。

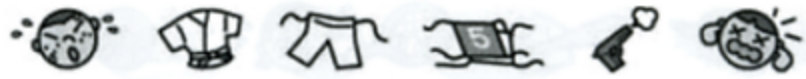
お母さん
いつもドロドロになったユニフォームを見て、「がんばってるな」と一言、それが僕を笑顔にしてくれる。これからは、がんばります。

お父さん
小さい時は大きく見えていた背中が、今は同じくらいだね。こんなに大きく育ててくれてありがとう。

お母さんのお弁当
真似しても真似できない母の味、私の幸せな味
お弁当を開ける時、いつもお母さんの優しい笑顔が浮かぶよ。

加美中学校

の日記



杉原谷幼稚園

あかるく なかく たくましく 杉幼



豆まき

節分についての話を聞き、ビデオ「おなかのなかに おにがいる」を見ました。おなかの中にある悪いおにを、豆をまいて追い払おうというお話です。お話を終った直後、突然ドドンと太鼓の音とともに青鬼が金棒を持ちあらわれました。突然のことです。びっくりした子どもたちでしたが、「おにはそのと、ふくはうち・・」と必死になり、おににマメをぶつけました。おにには「これは かなわん」と退散していききました。

「いきなりできて びっくりしたな」

「こわかったな」

「おにはそのと、いうてまめなげたら、おににげった」

「よかった」「ほっとした」「マメまいてよかった」と、ほっとしている子

「いや、まだどつかにおにがいる気がする」

「おなかのなかにおにが、おりそうや かわいい」と、まだ怖がっている子

「おに、やつつけて おもしろかったな」

「あれ、○○せんせいはいつとんや」

「○○せんせいだけ、へやにおらへんかった」と、冷静に見ている子

様々な様子を見せる子どもたちでした。

豆まきの後は、年の数より一つ多い数の豆をいただきます。おいしいとポリポリといい音を立てて食べました。

クラスでの話し合いの時には、「やさしいおにもある」「おにには怖くて悪いものだけではないとも話し、自分の中に怒りんぼうおに・泣き虫おに・食べ物の好き嫌いおになどいろいろなおにを豆まきをしてやつつけると話し合いました。自分のことを自分なりに見つめ話ができる子どもたちはすごいなと改めて感じました。当日、病気で欠席していた友達のために、病気のおにをやつつけようとお話し豆まきをしてくれ、思いやりの気持ちも見せてくれました。いろんなおにとこれからも戦ってほしいなと思います。



夢を持つ
この字にした理由は、
夢を持って、前向きに
進みたいからです！

2年生を教えて

私は、いとうみずきちゃんを教えました。みずきちゃんは、6文字だったので書けるかなと思っていました。しかしきれいに書いていました。



夢を持つ

全カプレー

ぼくは、目標を書きました。
ぼくは、野球を習っていて、あまり
思い切ったプレーをしたことがないから、これにしました。

4年のとき、教
今の2年生を、今年
えただけ、ちゃん
の方が、ちゃん
とおしえられた。

書き初め大会
今回は、1月
14日の「校内書
き初め大会」に
臨んだ、子ども
たちの思いを記
した電子のノ
トを紹介します。

全カプレー

一歩前進

去年目標にしていたことが出来るようになったし、今年もまた、新たな目標が出来たので、それを「こせたらな」「こしたいな」と思ったので、この言葉にしました。

わたしは、教えるのが苦手なので、うまくできるか心配だったけど、つくみちゃんにうまく教えてあげられたので、よかったです。
いい経験になりました。



一歩前進

「一歩前進」

私は、何も得意なことがありません。だから、いろんなことに、「一歩一歩頑張りたい」と思ったから書きました。特に、勉強をがんばりたいです！

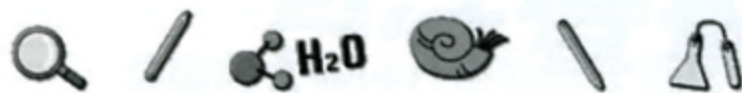
2年生に

私は、2年生の青田まなちゃんにおしえました。
まなちゃんは、新年と書きました。
教えなくても、上手でした。



一歩前進

中町北小学校



クラス

八千代南小学校

バスケットボール



アナライザーシートがすごくつくれるのがおもしろかったし、つけられた後、自分がどれだけ動いているんだろと楽しみました。そして、作戦を考え上手くできてやりがいがありました。みんながちゃんとまとまり、すごく進みました。そして、チームは、バスに集中してこうげきできています。ドリブルよりパスの方がつかれないし、速く進めるからです。キャプテンとして声を出して、みんなの司会などすごく大変だったけど、よくできてよかったです。このようにしてがんばりたいです。



5年生の体育の授業で、バスケットボールをしました。毎時間の中で子ども達は、ただゴールを目指して攻めていくのではなく、攻め方を考えたりお互いの意志を通わせ合ったりと協力してシュートできるように、チームで作戦や練習方法を考え取り組みました。練習や試合を通して出てきた課題を本時の反省として「作戦シート」に書いていきます。そして、その課題が次時の練習内容となります。また、「アナライザーシート」なども活用し、個々の動きからチームの課題を見つけ、作戦を考えていく活動もしました。



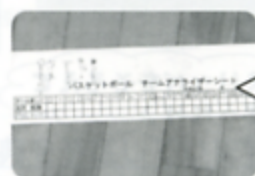
児童の作文より



はじめは、ドリブルばかりだったけど、作戦カードを書いていこううちにバスをけつこう使うようになった。アナライザーシートを使っていると見る相手や自分がどれだけ動いているかがわかったし、ほとんどみんながボールをさわる事ができたし、チームで話し合ってフォアメーションも考えて、試合もほとんど勝てるようになりました。

バスケットボールで、作戦カードやアナライザーシートは、しっかりとしたところを直して、変えて、どうすればいいか考えることに生かされました。また、しっかりとチームで話し合いができました。いろいろな作戦をつかいました。作戦を考えていくうちに、チームはいろいろなせめ方ができてきて、勝つことも多くなりました。一人かけてもみんなと協力できました。これからがんばります。

アナライザーシートとは？



自分がどれだけドリブルやバス、シュートが出来ているか、チームで分析するためのチェックシート！

八千代中学校



巣立ちの日を前に

3年生は卒業の日を前にしています。志望校を決め、出願し、受験に望みます。今は推薦入試等で早々と進路を決定した生徒、受験を控えている生徒など様々ですが、目標に向かってがんばっています。そんな中で、人としての心も着実に成長しています。3年生の生活ノートには、素直な気持ちが表れています。そして、生活ノートを通して担任の先生との心のキャッチボールをしています。

今日は、高校に入ることがどれだけ大変で難しいことかということを感じました。それも、親しい友人が推薦で落ちるとは考えても見なかったことでありまして、A君にどう声を掛けてやればいいのか全然分かりませんでした。とてもつらい一日でありましたが、一つだけいいなあ~と思ったことがあります。それは、A君が落ちたという事が分かるまでは、みんなわいわい言っているさかったのがその事を知らされると一瞬みんなが悲しみて心が一つになったような気がしました。そういう点がよかったなと思いました。

なるほど、お互いにそういう一体感が共有されているというのは、本当にいいことだ。

もう1月も終わりです。入試まで1.5か月ってところですよ。正直ちょっとあせります。でもこのあせりはみんなが感じていることだと思います。やっぱりこれを少しでもおさえるためには、自信をもたないとだめだと思います。やっぱり自分が納得するぐらい努力できたら自信につながると思います。後悔はしたくないです。今がんばらなかったらたぶん一生後悔するだろうと思うので...

自分と、正面から戦えること。これが一番、身につけてはいけない能力であり、また、一番難しいところでもあります。〇〇さんのように考えられるって、すばらしいです。自分のために、気合い入れて、やり切ってください。



真剣に面接の練習をしています。

今日の朝、私立の願書を出しに図書室へ行って、最終、目を通して、ハンコが無いのに気がついて、昨日あんなに確認したはずなのに、なくて、急いでお母さんにはんこ持ってきてもらって、おしてもらいました。帰ったら、「あほやな間におうたんか？」と言われました。私はまだまだ親にたよるとるなあ、めいわくかけばなしやなあと思いました。親がおらんでも、なんでも出来る、そんな考え方は、まだまだ子供やなと思いました。ホンマ、めいわくかけて、ゴメンナ、父さん・母さん。

自分の目って、そのときは「やったはず」という気持ちでみるのでどうしても、あとで「え？」と気づくこともあり、でも、こうやって成長していくんですね。この成長の過程が、すばらしいですよ。父さん・母さんに感謝できる心も、今、改めて感じる事ができること、ホ~と温まります。ますますいっしょに成長したい！と思いましたよ。



保健室から

中町南小学校

掃除時間でトイレにも心も ピカピカに



「先生、見て！
こんなにきれい
になったで！」
掃除の時間、嬉
しそうに女の子
が駆け寄ってく
れました。

なるほど覗いてみると、そこ
には長靴を履いてデッキブラシ
やスポンジを持った女の子たち
が、手を真っ赤にしてトイレ掃
除をしてくれていました。
「ここ、来た時はすごいきた
なかったけど、頑張つてブラ
シでこすつたらピカピカにな
った。」とにこり。

また別の場所
のトイレ掃除を
見てみると、今
度は男の子たちがぞうきんを
持って、便器の上をゴシゴシ



と力を入れて拭いてくれてい
ました。

まだ、床に水が
たまってな



このままだと小さい子が
すべってしまうやん！

「トイレ掃除
つて最初は嫌
いやつたけど、
きれいになつ
たら気持ちい
いし、楽しい
んなあ。」
そう話してく
れた子どもた
ちはみんなと
てもいい表情
でした。



最後はスリッパをそろえて
よし！ばっちり♪

校長先生の日



松井小学校

「ありがとう」の花を育てる

児童用玄関
を飾る大文字、
「ありがとう」
のメッセージ。
これはいただ
いた心に対す
るお礼の言葉
です。いつで
も、どこでも
進んで使える
子に育ってほ
しいと思いま
す。



子ども同士の会話にちよつ
とした「ありがとう」がたく
さんあります。とても自然です。
教室を回っていると、担任が「あ
りがとう」を伝える場面によ
く出会います。その心を受け
取つて子どもがニッコリします。
周りの子もうれしそうです。
職員の間でも、
頻繁に使われ
る言葉です。
朝、道路を
渡り終わって、
見守るおとな
に、「おはよう」
だけでなく「あ
りがとう」と
元気よく付け
加える子がい



ます。停止してくださった運
転手の方には、たくさんの子
が「ありがとう」のお辞儀を
しています。そうできる子が
確実に増えてきています。わ
たしも率先して声を出し、お
礼の心を届けます。

地域の方々への「ありがとう」
にも、自然な響きがこもって
います。学校ボランティアの
皆様を迎える場が増えてきた
だけに、子らは地域の見守り
という温かさを感じているの
でしょう。「横断歩道を渡り終
わって、きちんとお礼を言っ
ている姿に、心の成長を見ます」。
そんな声を聞きました。

「ありがとう」は、豊かな人
間関係を支えていくビタミン
剤です。この栄養剤を大切に
できる子を、家庭・地域と共
に育てていきたいと願ってい
ます。(松井小学校)





兵庫県立北はりま特別支援学校

〒679-1112 兵庫県多可郡多可町中区間子602-1
TEL (0795) 32-3672 FAX (0795) 32-3967
http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-sn/

校訓

明るく
仲良く
生き生きと

ご協力ありがとうございました！

地域交流では間子地区長寿会の方と5月に植えたさつま芋を10月に収穫できました。長寿会の方のご協力で収穫の喜びを味わえました。またプランター寄贈では、役場や消防署などにパンジーを寄贈し、地域環境美化に貢献できました。一方学校間交流では多可町内の小、中、高等学校と限られた時間の中での交流でしたがお互いすぐに打ち解けて楽しい時間を過ごしました。

1月22日から取り組んでいた耐寒かけ足は2月4日のマラソン大会をもって終了しました。寒空の中元気に最後まで走り抜くことができました。開催期間中は道路等でお世話になりました。



トピックス！

- ・去年の10月11日～13日大分県で開催された第8回全国障がい者スポーツ大会において走り幅跳び高等部2年上垣侑也君が兵庫県代表として出場し、銅メダルを受賞しました。
- ・11月9日兵庫県ハンディキャップサッカー大会（神戸しあわせの村）で本校スポーツクラブが8人制の部に出場し見事に優勝しました。
- ・12月10日多可町人権啓発の作品展で中学部3年藤本直正君（ポスターの部）、高等部1年笹倉直子さん（詩の部）、高等部3年山尾真矢君（標語の部）がそれぞれ入選しました。
- ・12月16日～21日原田の森ギャラリーで開催されたみんなのアート展（兵庫県特別支援学校等作品展）において本校中学部の作品「ぼくの私のゲルニ（似）力」が栄えある知事賞を受賞しました。
- ・2月1日杉原紙年賀状全国コンクールで中学部3年藤本直正君が銀賞を受賞しました。



お知らせ：来る10月24日（土）に本校の創立30周年記念式典を予定しています。

予告！子どもタイムズ 大幅リニューアル

教育委員会独自の情報誌「多可子どもタイムズ」も、おかげさまでまもなく今年で12号を数えます。平成17年11月の多可町合併以来、まず他区の教育の様子を知っていただくことに重点を置き、町内小学校園の特色的な活動をはじめ、いきいきと活動する子どもたちの姿にスポットをあてた記事を中心に掲載して参りました。

しかしながら、合併による動きも一段落した現在、多可町民全体が子どもたちを取り巻く情報を共有化し、地域総出で子どもたちを育てていく体制づくりの必要性が高まっています。そこで限られたページ数でより広く教育情報をお伝えするために、内容構成の見直しを図っていくこととしました。おもな変更点は次のとおりです。

① がんばる子どもを紹介

学校園や地域で活動する子どもやグループを、子どもたちの生の声で紹介します。

② 学校園ページを改良

学校園の特色ある取り組みをピックアップし、詳しく紹介します。

③ 教育情報の充実

子どもの教育に関する国や県の動きをはじめ、多可町教育委員会の重点施策の中から、進捗状況等を紹介します。

④ イベントカレンダーの新設

向こう3ヶ月の子ども向けイベントをまとめ、わかりやすく参加しやすい体制をつくりたい。

親しみやすくわかりやすい内容を追求し、よりきめ細かな情報発信に努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

感謝！スクラム・ハートプロジェクト 中学生と消防団との交流

地域の顔見知りづくり事業の一環として、本年度も町内の中学生と地元消防団との交流事業「スクラム・ハートプロジェクト」を11月から1月にかけて実施いたしました。本事業は全国的にも特徴のあるもので、地域で子どもを育てるモデル的な取り組みであると高い評価を受けています。

実施にあたりましては、各集落の消防団をはじめ地域住民の方々、中学校の先生方よりあたためたご理解・ご協力をいただきました。参加した中学生からも「実際の消防活動を体験して、消防団の重要性がわかった。」「消防団の方々と交流ができて楽しかった。」などの感想が届いております。

なお、この「スクラム・ハートプロジェクト」については、来年度も継続して実施して参りたいと考えておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



多可町教育委員会の活動が

全国に紹介されました！

「」の豊か、心身ともにたくましく育つ

平成の大合併により、全国にあり
ました3447の市町村教育委員会
が平成21年には約1800となりま
した。我々の教育委員会は「全国市
町村教育委員会連合会」に所属し、
情報の共有化を図っています。連合
会では、年に6回の時報「市町村教
委」が発刊されています。年に僅か
12の教育委員会が紹介される中で、
「特色ある教育活動」を実施してい
る教育委員会として、1月15日発行
の中で「多可町教育委員会」の活動が
紹介されました。

このようなことは何十年に一回あ
るかないかの出来事であり、全国に
多可町の教育を発信できました。内
容の一部を抜粋してお知らせします。

学校教育

感動と与える「教師力」の向上

合併後、一貫して①幼・小・中
の14校園が地域の特性を大事にした、
地域との一体感の醸成、②魅力ある
授業づくりのための教師力の向上、
③特別に支援を必要とする児童生徒
にさりげなく関われる環境づくりに
取り組んでいます。

また、旧町時代から教育委員会の
役割の一つとして、教師が「がんば
れるように」、意欲が出るように、



交流授業
国際的に活躍中のピアニスト弓張美季さんの
出前授業

そのための環境づくりにも努めてい
ます。

時代の先を読むのも教育委員会に
とって大切なことで、おもな施策を
挙げますと

- 特色ある学校づくりの成果の交流・
連携や、他校の良さを学び合う事
業としてスクールバスを購入し、
小学校間の「交流授業」を実施
- 小・中学校が連携し、小学低学年
から「英語活動」を系統立てて実施
- 小1から中3までの全学年に、学
習の定着度、理解度を測るため、
「全国CRTテスト」を実施し、教
師自ら分析して指導に活用
- 「ネットワーク配信コンテンツ」を
活用した授業創造に取組み、子ど
もたちの情報活用能力の育成や確
かな学力向上に寄与
- 教職員の自主研修制度、民間企業
や先進校視察研修などでの意識改革
○ 兵庫教育大学大学院と共同研究を
進め、教員の指導力の向上など

社会教育

ともに学び、行動できる

近年の大きな社会変化に伴い、住民
の生活課題や地域課題が多様化してい
ます。この中で、住民の多様な生き方
や学びを支援すると同時に、その成果
を社会貢献や地域づくりに活かすため
の仕組みづくりを行っています。また
子どもたちの人間性や生きる力を伸ば
し、ふるさとを愛する心を育てるため
に、町の人材や施設などと連携した学
習・体験の場の充実を図っています。

- 地域住民が、学校園での活動に協
力する「コミュニティサポート事
業」を展開
- 本年度新規に、地域住民による学
校応援ボランティアバンクを作成し、
学校教育を応援してもらう「たか学
校応援プロジェクト事業」を実施
- 登下校時の安全見守りボランティア
と連携し、青少年育成センター
を核とした「地域で子どもを育て
ていく活動」の実践
- 差別を許さない住民意識の向上の
ために、「住民学習会」の充実や、
様々な人権課題について考える機
会を提供
- 町内の各学校と連携し「地域に学
ぶ体験学習支援事業」、また町独
自の「ハートフルスクール」を実
施し、こころ豊かな子どもの育成

家庭教育

力加わり、学びあい、支えあう

- 少子化・核家族化等が進み、家族
のコミュニケーションがとりにくくな
っています。また地域における「地縁」
でのつながりの希薄化を受け、地域の
顔見知りづくりや異年齢間の関係づく
り、地域ぐるみで子どもを健全に育む
ための体制づくりを進めています。
- 地元消防団員（60分団）と中学生
全生徒、地域住民が交流する「スク
ラム・ハートプロジェクト」を展開
- 小中学生が自らの自立のために、
行動の指針として制定した「多可
町子ども憲章」の具現化
- 昨年5月に実施した家庭教育アン
ケートの集計結果を分析・考察し、
「家族の“きずな”を深めるための
親業講座」を新規に実施



消防団員と中学生が交流する
「スクラム・ハートプロジェクト」

施し、こころ豊かな子どもの育成
○ 敬老の日発祥の町として「おじい
ちゃんおばあちゃん児童画展」を
開催し、敬老の精神を全国に発信

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会社会教育課 FAX: 0795-32-4142 E-mail: shakaikyoiku@takacho.jp